

パルテノン多摩歴史ミュージアム 特別展

聖地をめぐる 行者と庶民

2012.3/17[土]～5/27[日]

休館日 4/17[火]～18[水]、5/16[水]～17[木]

上部画像：庚申大神像／小林久子氏所蔵
下部画像：六十六部（『四時交加 二巻』より）／国立国会図書館所蔵

10:00～18:00 **入場無料**

パルテノン多摩2階 特別展示室

関連講座「行者と庶民の信仰史」

※講師名敬称略

- ① 4/14[土]「地域資料から見た多摩の六十六部」 乾賢太郎（当財団学芸員）
- ② 4/21[土]「富士信仰の変遷」 梅澤ふみ子（惠泉女学園大学教授）
- ③ 5/ 5[土]「高野山と伊勢の参詣習俗」 村上弘子（真言宗智山派智山年表編集委員）
- ④ 5/13[日]「武州御嶽信仰と代参」 長沢利明（法政大学非常勤講師）

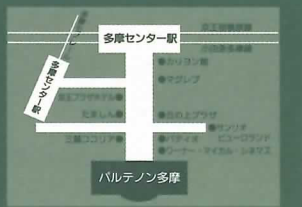
【時間】14:00～16:30【会場】パルテノン多摩4階 第2・3会議室

【定員】各回40名 【受講費】各回500円／4回通し1,500円

【申込み】往復ハガキに住所・氏名・電話番号・希望講演日（または4回通し）を記入し、
「パルテノン多摩歴史ミュージアム特別展関連講座係」まで（3/30[金]の消印有効）

交通のご案内

- 京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩5分
- ◇京王線・京王新線
新宿から急行・快速利用で35～40分
新宿から特急・調布乗り換え橋本行きで30分
 - ◇小田急線
新百合ヶ丘から唐木田行きで15分
 - ◇多摩モノレール
立川南から多摩センター行きで20分



後援 多摩市／多摩市教育委員会

主催 公益財団法人多摩市文化振興財団 〒206-0033 東京都多摩市落合2-35 Tel 042-875-1414 <http://www.parthenon.or.jp>



聖地をめぐる 行者と庶民

2012.3/17[土]～5/27[日]

休館日 4/17[火]～18[水]、5/16[水]～17[木]

10:00～18:00 **入場無料** パルテノン多摩2階 特別展示室

人々は参詣や遊山のため、寺社に赴くことがあります。寺社の中には、古来より聖地と見なされてきたところもあり、聖地をめぐる信仰は中世にまで遡ると言われています。しかし、当時聖地を訪れることができたのは、公家・武家・宗教者といった限られた人々でした。

江戸時代になり、交通網の整備、貨幣の流通、富裕層の拡大が生じると、庶民も全国の寺社を積極的にめぐることができるようになりました。このような傾向は多摩地域でも同様で、個人・家族・地域といったレベルで寺社を訪れるようになったのです。また、修行や巡礼を実践する行者も、活発に各地の聖地をめぐるようになりました。そして現代、聖地をめぐる信仰はパワースポットブームといった新たな現象にも形を変えながら、脈々と続いていると言えるでしょう。このように、今なお続く「聖地めぐり」ですが、多摩の人々にとって、どのような意味を持っていたのでしょうか。

本展示では、行者と庶民といった双方の視点から、多摩から遠方へと向かう聖地めぐりの信仰を振り返ることと、人々と聖地・地域社会との「つながり」を考えたいと思います。

一．多摩の六十六部

かつて、六十六部と呼ばれる行者がいました。六十六部とは、法華經を書き写し、日本各地の霊場に納経する行者のことですが、市内にも六十六部の伝承が残る小林家が存在します。本章では、地域に伝わる資料を中心に、日本の聖地を巡った六十六部に注目します。

二．富士への信仰と行者

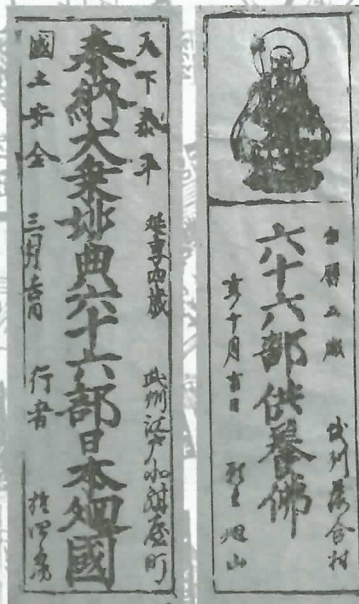
六十六部を出した小林家では、明治時代になると、富士信仰系の教団から辞令を受け取り、富士信仰の行者として活動していました。ここでは、富士信仰系の教団に属した行者や、地域における富士信仰のようすを振り返ります。

三．西国の聖地を目指す人々

江戸時代になると、庶民層にも寺社を訪れる習慣が広まりました。多摩の場合も、人々は近郊だけではなく、遠方の聖地まで関わりを持ち、参拝や供養に行きました。本章では、西国の聖地と多摩の人々の関わりを中心に、当時の参詣や巡礼について考えます。

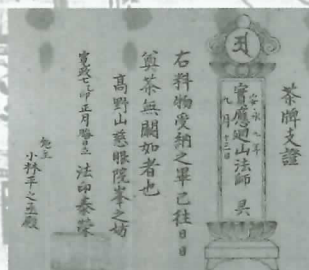
四．今なお続く代参講

戦後、講社で参詣する習慣は減りつつあります。市内においても、大山(神奈川県伊勢原市)・榛名山(群馬県高崎市)へ赴く代参講は絶えてしまいました。しかし、武州御嶽山(東京都青梅市)の代参講を続ける地域もあります。現在の代参講を通して、人々と聖地のつながりを考えます。



貝取の富士塚にあった石碑
明治35年(1902) / 当館撮影

六十六部が作った御札【復元】
左:延享4年(1747)3月
右:宝暦5年(1755)10月
小林久子氏所蔵



茶牌支証(寶應廻山法師)
寛政7年(1795)正月 / 小林久子氏所蔵



山王下講中の武州御嶽山の代参
平成23年(2011)10月 / 当館撮影

同時開催 企画展



蝶たち、東京にくる

3/16[金]～7/9[月]
歴史ミュージアム企画展コーナー
10:00～18:00 入場無料

お問合せ 公益財団法人多摩市文化振興財団 (パルテノン多摩) 〒206-0033 東京都多摩市落合2-35
TEL 042-375-1414 (代) ホームページ <http://www.parthenon.or.jp> ツイッター https://twitter.com/#!/par_tama_museum